

第2学年1組 国語科学習指導案

平成28年10月28日(金)

場所 2年1組教室

授業者 早弓 恵子

1 単元名 どうぶつの「すごい」をみんなでさぐろう

教材名「ビーバーの大工事」(東京書籍2年下)

2 単元の目標

- ビーバーや他の動物に関心をもち、進んで教材文を読んだり、本を読んで調べたりしようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- クイズを作るために、ビーバーや他の動物の生態について書かれた教材文や本を読み、大事な言葉や文を書き抜いてまとめることができる。
(読む能力)
- 文の中における主語と述語との関係に注意して、文や文章を読むことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

3 本単元で扱う言語活動について

「C読むこと」の言語活動例ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」を取り上げる。具体的には、動物の生態について書かれた図鑑や科学読み物などを読んで「どうぶつすごいぞクイズ」を作り、クイズ大会で解き合うという言語活動を設定する。動物の「すごい」とは、生きる場所や過ごし方に合った体の仕組みや特徴、巣作りや餌取りなど行動に見られる生きるための知恵と定義する。クイズは、問題と答えという分かりやすい構成から成り、児童の生活に身近なものである。クイズを作る活動は、自分が見つけた「すごい」に関わる大事な言葉や文を書き抜きまとめる力をつけることができる。さらに、クイズ大会で友だちの作ったクイズを解く活動は、目的意識をもって読み、大事な言葉や文を書き抜く力をつけることができると考え、本言語活動を設定した。

4 単元の評価規準<評価方法>

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ビーバーや他の動物について書かれた教材文や本に興味をもち、教材文を読んだり、いろいろな本を読んで「どうぶつすごいぞクイズ」を作ったりしようとしている。<観察、ノート、ワークシート>	クイズの問いや答えに必要な大事な言葉や文を書き抜きまとめている。 <観察、ノート、ワークシート>	文の中における主語と述語の関係に注意して内容を読んでいる。 <ノート、ワークシート>

5 単元について

本単元の重点指導事項は、学習指導要領第1学年及び第2学年の「C読むこと」(1)「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」である。そこで、動物の「すごい」を見つけ、クイズにして友だちに教えるという目的のもと、問題や答えを考えるために文章を読むという活動を設定し、文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、調べたことについてまとめることができることをねらいとした。本単元では、本教材で付けた力を活用して、並行読書していた本や図鑑から自分の興味のある動物についてクイズを作り、解いていく。「どうぶつすごいぞ!クイズ」の答えの後には、自分の見つけた「すごい」についての解説をつける。それによって読みたい、伝えたいという児童の気持ちを表現させることができると考える。

本教材は、「木を切りたおすビーバー」「ダムを作るビーバー」「すを作るビーバー」という3つの意味段落の構成を見出しで明示しているため、まとまりごとに「すごい」を見つけることに取り組みやすい工夫がしてある。その中で、擬声語や擬態語、比喩表現、具体的な数値、臨場感あふれる表現を効果的に使い、ビーバーの体のつくりや優れた身体能力、いかに大工事であるかなどが、分かりや

すく書かれている。また、文章を読むだけでは理解しにくい事柄については、写真や挿絵が添えられており、それらを文章と対応させながら見ることにより、イメージしやすくしてある。以上の点から、ビーバーの仕事の手順、体の特徴、大工事を行う理由を、大事な言葉や文に気を付けながら読み取ることのできる教材である。「すごい」が答えとなるクイズを作ること、また、友だちが作ったクイズに答えるために読むことで、目的意識をもって読み、効果的な表現等にも気付くこともできると考える。

説明文単元では、第1学年11月「のりもののことをしらべよう」で、乗り物について書かれた本を読み、役目やつくりについて読み取る学習をしている。また、第2学年5月「たんぽぽのひみつを見つけよう」では、時間や事柄の順序に気を付けて読む学習を行う。それらを踏まえ、本単元では、大事な言葉や文を書き抜き、それを書き換える学習を行い、第3学年11月「はたらく犬について調べよう」における、書かれていることを目的に応じて要約する学習につなげる。

6 児童について

…＜個人情報保護のため省略＞…

7 指導にあたって

研究仮説に基づき、以下のように取り上げ、指導する。

【仮説1】言語活動のゴールに向かう学習過程を工夫し、指導と評価の一体化をすることで、児童一人一人にめあてを達成させることができるであろう。

ア 言語活動のゴール

「どうぶつすごいぞ！クイズ大会をしよう」

友だちの作った「どうぶつすごいぞ！クイズ」の問題を読み、答えを書く。本を読んでクイズの答えを見つける学習活動は、大事な言葉や文を見つけながら読む力の活用となる。

イ めあての達成に効果的な学習過程

本単元では、教科書教材「ビーバーの大工事」とともに、動物の生態について書かれた科学読み物を並行読書する。学習意欲を高めるために、本教材同様、動物の体のつくりや行動から、動物の「すごい」を読み取ることができるような本を準備する。

「(a)めあての把握」では、教師が作った「どうぶつすごいぞ！クイズ」のモデルを提示し、クイズを作って解き合うという学習のめあてを把握し、めあて達成の見通しをもつ。

本単元では、「(b)付けたい力の獲得」と「(c)付けた力の活用」を組み合わせた学習過程を設定した。「(b)付けたい力の獲得」では、教材文の内容の大体を読み、ビーバーの「すごい」を説明している大事な言葉や文を書き抜く。そして、それを使ってクイズ（問題と答え）作りをする。さらにその後、個人で作ったクイズをペアやグループ、全体で解き合うことで、大事な言葉や文を見つけながら読み取る力を獲得できると考える。また、並行して、他の動物の体の仕組みや生態について説明した本や文章を読み進めてクイズを作り、「(c)付けた力の活用」を図る。

以上の学習過程を通して、言語活動のゴールへと向かっていく。

ウ 形成的評価の場面と評価の観点の明確化

(a) めあての把握

興味をもった動物の「すごい」を見つけてクイズを作ろうという意欲をもつことができている。
<観察、ワークシート>

(b) 付けたい力の獲得

- ・ 3つのまとまりに分かれていることを理解し、大事な言葉を探しながら内容の大体をつかむことができている。
<ワークシート>
- ・ 自分が見つけたビーバーの「すごい」が答えとなるような問題を作ることができている。
<ワークシート>
- ・ 友だちの作った「ビーバーすごいぞ！クイズ」の答えを見つけることができている。
<ワークシート>

(c) 付けた力の活用

- ・ 本から動物の「すごい」を見つけて付箋にメモをし、クイズを作ることができている。
<付箋・ワークシート>
- ・ 友だちの作った「どうぶつすごいぞ！クイズ」の答えとなる大事な言葉や文を見つけ、答えを正しく書くことができている。
<ワークシート>

【仮説2】学び合いのあり方と評価方法を工夫することで、児童の思考力・判断力・表現力を育成し、めあてを達成させることができるであろう。

ア めあてに向かう学び合いになるための事前の指導

学び合いに入るにあたって、以下の点を指導する。

- ・ 自分が見つけた「すごい」や、どうしてそれを選んだかが相手に分かるようにワークシートに書く。

- ・ 問題と答えを書き、問題と答えの内容が合うようにしておく。

イ 効果的な学び合いになるための方法

- ・ ペア、グループの組み方

同じ動物の本を選んでいる児童同士で、ペア・グループ学習を行う。教科書教材以外になると、図鑑や本などを自分で読み進めて内容を理解することの難しい児童もいると予想される。同じ本を読んでいるペア、グループにすることで、一緒に内容を確認めながら学習を進めることができるであろう。

- ・ ワークシートの活用

ペア学習では、自分の作ったクイズの答えの欄を空けたワークシートをペアで交換する。互いのワークシートに書き合うことで、相手の見つけた「すごい」を本から見つけようとする意欲を高めることができ、学び合いがよりよいものになると思われる。また、友達からのアドバイスを受け、書いたことを修正する際には、消さずに自分のワークシートに書き加えたり書き直したりすることで、ペア学習での学びの足跡が残ると考える。

ウ 学び合いにおけるめあての達成に向かう評価のあり方

(ア) めあての達成についての個の評価

- ・ ビーバーや他の動物について作ったクイズの問題と答えで、大事な言葉や文を書き抜き、まとめることができているか。
- ・ 友だちの作ったクイズの答えを正しく書き抜き、まとめることができているか。

(イ) めあての達成に向かう学び合いについての個の評価

観察と振り返り、意識調査によって評価する。

<学び合いにおいて求める児童の姿>

- ① クイズの答えを本から見つけて書こうとしたり、自分のクイズをよりよいものにしようとしたりする。
- ② ワークシートをもとに、自分の見つけた「すごい」を話す。
- ③ ペア学習で友だちがどんな「すごい」を見つけたかを理解したり、質問したりする。
- ④ クイズを書いたワークシートを使って、友だちの見つけた「すごい」が分かり、それが伝わる答えや解説になるようペアで考える。
- ⑤ 友だちの作ったクイズやアドバイスを参考にして、「すごい」の伝わるクイズにする。

8 単元の指導計画と評価規準 (全 16 時間) は教科書教材を使った学習

次	時	目標	主な学習活動	評価			
				関	読	言	評価規準 (評価方法)
めあてと学習過程の把握	1	本単元のめあてと付けたい力をつかみ、学習の見通しをもつ。	○本単元のめあてと付けたい力をつかみ、学習活動の見通しをもつ。 ・「どうぶつすごいぞ！クイズ」がどのようなものかを知り、今の自分で解けるか試す。 (教師のモデル) ・学習の見通しをもつ。	○			【関】 興味をもってクイズを聞き、本単元のめあてをつかみ、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 <観察、ワークシート>
		めあて：どうぶつの「すごい」をみんなでさぐる 言語活動のゴール：「どうぶつすごいぞ！クイズ大会」をしよう。 付けたい力：大事な言葉や文を見つけながら読む力					

付けた力の獲得と付けた力の活用

2	教材文を読み、新出漢字を書き、語句の意味を理解することができる。	○教材文を通読し、新出漢字を学習したり、語句の意味を確かめたりする。			○	【言】新出漢字を書くことができ、語句の意味が分かる。〈ノート〉
3	教材文を読んで、ビーバーの「すごい」を見つける。	○教材文を読んで見つけたビーバーの「すごい」に線を引く。			○	【関】教材文に興味をもち、進んで学習に取り組もうとしている。〈教科書〉
4	調べたい動物の本を読み、「すごい」を見つける。	○動物の本を読んで見つけた「すごい」を付箋にメモする。	並行読書		○	【関】動物の生態について書かれた本に興味をもち、進んで読んでいる。〈観察・付箋〉
5・6	クイズの作り方を知り、 木を切りたおすビーバー を読んで内容をとらえ、クイズを作っ て解き合うことができる。	○ 木を切りたおすビーバー の内容から、教師がモデルとして提示したクイズに答えることを通して、木を切りたおすビーバーの様子を読み取る。 ○ 木を切りたおすビーバー の内容から見つけた「すごい」が答えとなる簡単な問題を作り、解き合う。			○	【読】木を切り倒すビーバーの「すごい」が伝わる大事な言葉や文を見つけ、書き抜いている。〈ワークシート〉
7	自分の選んだ本を読んで大事な言葉や文を見つけてクイズを作り、解き合うことができる。	○メモした付箋を利用して、選んだ動物の「すごい」が答えとなる簡単なクイズを作り、ペアで解き合う。			○ ○	【読】自分が選んだ動物の「すごい」が伝わるようにクイズを作っている。 【言】主語と述語の関係に注意しながらクイズを作っている。〈ワークシート〉
8	ダムを作るビーバー を読んで、ビーバーがどのようにダムを作るかを読み取ることができる。	○ ダムを作るビーバー から教師が提示したクイズに答えることを通して、どのようにダムを作るか（様子など）を読み取る。			○	【読】ビーバーがどのようにダムを作るかを読み取っている。〈ワークシート〉
9	すを作るビーバー を読んで、ビーバーが巣を作る理由を読み取ることができる。	○ すを作るビーバー から教師が提示したクイズに答えることを通して、なぜビーバーが大工事を行うか（理由や目的）を読み取る。			○	【読】ビーバーがなぜ大工事を行うかを読み取っている。〈ワークシート〉

	10・11	教材文全体から、自分の見つけた「すごい」でクイズを作り、解き合うことができる。	○教材文全体から作ったクイズをペアで交換して解き合う。		○	【読】友だちのクイズの答えとなる大事な言葉や文を見つけて書き抜いている。 〈ワークシート〉
付けた力の獲得と付けた力の活用	12	自分の選んだ本を読んで、大事な言葉や文を見つけてクイズを作る。	○メモした付箋を利用して、選んだ動物の「すごい」に関して理由や目的、様子等を問うクイズを作る。		○	【関】自分が選んだ動物の「すごい」が伝わるようなクイズを作ろうとしている。 【言】主語と述語の関係に注意しながらクイズを作っている。 〈ワークシート〉
	13 (本時)	大事な言葉や文に気を付けながら本を読み、問題や答えとなる言葉や文を書いたりすることができる。	○ペアで、作ったクイズを互いに解き合う。		○	【読】クイズの答えを正しく書き抜き、友だちのクイズが本に書いてあることと合っているかどうか分かる。〈観察、発言、ワークシート〉
付けた力の活用	14・15	作ったクイズを隣の学級の友だちと出し合い、交流する。	○「どうぶつすごいぞクイズ大会」をし、友だちのクイズを解く。		○	【読】友達のクイズに答えるために、大事な言葉を見つけないながら本を読んでいる。〈観察、ワークシート〉
	16	単元の学習を振り返り、分かったことや身についたことを確かめる。	○単元で身についた力を振り返る。		○	【関】ふり返りの中に、大事な言葉や文を探しながら読むことに関わる内容を書いている。〈ワークシート〉

9 本時の学習 (13/16 時間)

(1) 目標

友だちのクイズの問題に答えるために大事な言葉や文に気をつけながら本を読み、答えとなる言葉や文を書くことができる。(読む能力)

(2) 展開

学習形態	学習活動と予想される児童の反応	教師の支援	評価 〈評価方法〉
全体	1 本時のめあてを確認する。	・学習計画を確かめ、児童が見通しをもって取り組むことができるようにする。	
	◇「どうぶつすごいぞクイズ」をとき合おう。		

<p>全体</p> <p>ペア</p>	<p>2 学習の流れを確認する。</p> <p>①互いのクイズを解き合う。</p> <p>②答え合わせをする。</p> <p>③作ったクイズを一緒に直す。</p> <p>3 ペアで、作ったクイズを解き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習の流れを確認し、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにする。 	<p>【読】友だちのクイズの問題に答えるために大事な言葉や文に気を付けながら本を読み、答えとなる言葉や文を書いている。(ワークシート)</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="245 374 509 421">児童の様子</th> <th data-bbox="513 374 938 421">ペアの児童の関わり</th> <th data-bbox="943 374 1246 421">教師の支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="245 421 509 551">答えがどこに書いてあるか分からず、クイズが解けない。</td> <td data-bbox="513 421 938 551">「本のここに書いてあるよ。」と一緒に本を読んで答えを見つける。</td> <td data-bbox="943 421 1246 551">ペアの児童に「分からない」を具体的に伝えるよう助言する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 551 509 725">クイズの答えや解説が伝わらない。</td> <td data-bbox="513 551 938 725">「このことを書いておかないと、『すごい』が伝わらないよ。」とアドバイスする。</td> <td data-bbox="943 551 1246 725">本のどこに書いてあるかを示してアドバイスするようペアの児童に助言する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 725 509 770">クイズが解けた。</td> <td data-bbox="513 725 938 770"></td> <td data-bbox="943 725 1246 770"></td> </tr> </tbody> </table>	児童の様子	ペアの児童の関わり		教師の支援	答えがどこに書いてあるか分からず、クイズが解けない。	「本のここに書いてあるよ。」と一緒に本を読んで答えを見つける。	ペアの児童に「分からない」を具体的に伝えるよう助言する。	クイズの答えや解説が伝わらない。	「このことを書いておかないと、『すごい』が伝わらないよ。」とアドバイスする。	本のどこに書いてあるかを示してアドバイスするようペアの児童に助言する。	クイズが解けた。			<ul style="list-style-type: none"> ・学びのあとが児童にも分かるよう、書いていたことを消さずにワークシートに書き加えるようにする。 ・答えを直すことのないペアは、より「すごい」が伝わるように解説を見合うよう助言する。 ・ペアで解決できなかったことを、同じ本を読んでいるペア同士でグループを作り、解決できるようにする。
児童の様子	ペアの児童の関わり	教師の支援												
答えがどこに書いてあるか分からず、クイズが解けない。	「本のここに書いてあるよ。」と一緒に本を読んで答えを見つける。	ペアの児童に「分からない」を具体的に伝えるよう助言する。												
クイズの答えや解説が伝わらない。	「このことを書いておかないと、『すごい』が伝わらないよ。」とアドバイスする。	本のどこに書いてあるかを示してアドバイスするようペアの児童に助言する。												
クイズが解けた。														
<p>グループ</p> <p>全体</p>	<p>4 グループで、クイズを解き合ったり修正したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんのクイズもとけたよ。 ・ 同じところをクイズにしているけど、○○さんの方が分かりやすいな。 <p>5 本時の振り返りをし、発表する。</p>	<p style="text-align: center;">振り返りの視点</p> <p>□友だちのクイズの答えを本から見つけて正しく書くことができたか。(◎○△)</p> <p>◎そのこつは？(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もんだいに出てくることばをさがしながら読んでいたら、その近くにこたえが書いてあった。 ◆もんだいに出てくることばを見つけて読むと、答えが分かる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視点にそって振り返ることができるようにする。 ・ 活動を通して学んだことを読む方法としてまとめ、今後も活用できるようにする。 												

(3) 評価

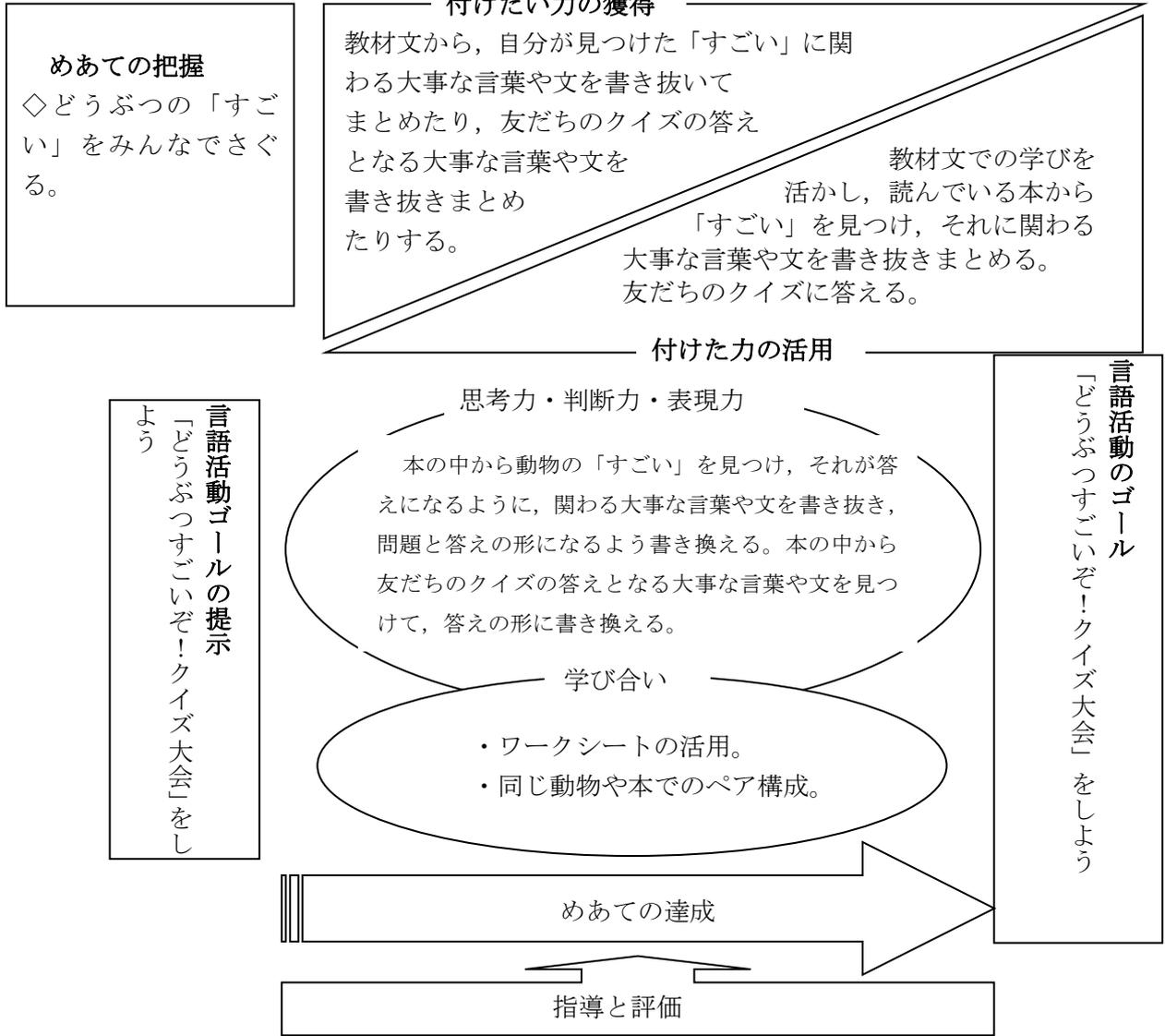
	十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足とされる児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
読むこと	友だちのクイズの答えを本から見つけて正しく書き抜いている。どうやって答えを読み取るかを理解し、「すごい」が伝わるようアドバイスしている。(観察, 発言, ワークシート)	友だちの作ったクイズの答えを本から見つけて正しく書き抜いている。(観察, 発言, ワークシート)	友だちの作ったクイズの問題が理解できない場合は, 補足説明をする。答えを見つけられない場合は, ペアになっている友だちに困っていることを伝え, 教えてもらったり, 一緒に考えてもらったりするよう助言する。

(4) 研究の視点

【仮説2】めあての達成に向かう学び合いのあり方

ペアやグループで互いのクイズを解き合う活動は, 大事な言葉や文を書き抜き, 「すごい」が伝わるクイズを作るために効果的な学びとなったか。

単元構造図



評 価	(a) めあての把握 ・興味をもった動物の「すごい」を見つけてクイズを作ろうという意欲をもつことができる。	(b) 付けた力の獲得 ・三つのまとまりに分かれていることを理解し、大事な言葉を探しながら内容の大体をつかむことができる。 ・自分が見つけた「すごい」が答えとなるような問題を作ることができる。 ・友だちの作った「ビーバーすごいぞ！クイズ」の答えを見つけることができる。	(c) 付けた力の活用 ・本から動物の「すごい」を見つけて付箋にメモをし、クイズを作ることができる。 ・友だちの作った「すごい」クイズの答えとなる大事な言葉や文を見つけながら本を読むことができる。	・友だちの作った「すごい」クイズの答えとなる大事な言葉や文を見つけながら本を読むことができる。